

第2回 横浜市狩場緑風荘 指定管理者選定委員会会議録	
開催日時	令和3年8月11日(水) 13時00分～14時53分
開催場所	保土ヶ谷区役所 3階 301.302 会議室
出席者	<委員>福田委員長、小石川委員、野川委員、前田委員、吉原委員 (計5名) <事務局>椎葉課長、李係長、佐藤、田村 (以上4名)
欠席者	無し
開催形態	公開(傍聴者なし)
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 応募団体面接審査               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) プレゼンテーション</li> <li>(2) 質疑応答</li> </ol> </li> <li>3 意見交換、評価シート記入</li> <li>4 指定候補者の決定</li> <li>5 特筆すべき提案について</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション 事務局から、選定委員会の進め方、応募結果、評価・選定方法等について説明。</li> <li>2 応募団体面接審査               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) プレゼンテーション 応募団体によるプレゼンテーションを約20分実施</li> <li>(2) 質疑応答 委員からの質疑と応募団体による応答を約20分実施 主な質疑応答の内容は以下のとおり</li> </ol> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>委員：災害時の備蓄はどれくらいあるか。 応募団体：18人分を備蓄している。避難場所としての対応も含まれている。</p> <p>委員：本事業は指定管理料でまかなっているが収支がH30～R2まで差がある理由。 応募団体：工事等により休館せざるをえないときに使うべきお金が余ってしまうことがある。</p> <p>委員：感染症対策について、利用者向けの教育はどうしているか。 応募団体：まずスタッフに教育。また、講師・団体利用者の責任者を対象に集まっていたいで説明会を実施することにより参加者の理解度を上げている。その内容を利用者同士で伝え合っている。今後は、個人利用者に対しても同様の取組を実施していく。</p> </li> </ol>

委員：緑風荘のパブリックスペースとはどこを指すのか。

応募団体：ロビー、廊下、マッサージ器エリア、大広間。大広間でカラオケを実施していたが現在中止している。今後は、机・椅子を用意してカラオケ以外の有効利用を検討している。ロビーについては（集まるスペースを減らすため）現在開放していない。

（3密を防ぐため）施設全体の滞在時間を2時間としている状況。

委員：コロナの状況から元に戻った後、これを踏まえて何か新しい運営のあり方を法人として考えているか。

応募団体：大広間を地域向けに開放・相談に応じようと思っている。介護予防の研修などに有効利用。教室への転用なども予定。

また、各種祭りができないので、利用者の成果を伝える場が提供できる企画を検討（ビデオ撮影、YouTube、作品展）。利用者がネット社会に適合できるようにスマホ教室の頻度を増やす。

予約申込をするために当館に直接来るのがメイン（またはハガキ）。

メールにシフトしていきたいが、ガラケーなど使えない人が多い

ので、そういう方向けへの研修等の実施。人と会わなくても何かができるように少しずつ進めたい。

館内のWi-Fi整備についてもこれからの5年間で少しずつでも進めていきたい。

委員：利用者の声を運営に反映していくことは大事だが、実際問題として利用者の声はどれくらい汲み上げているか。又、新しいプログラムに活かしているか。

応募団体：事業の実施終了後の利用者アンケート結果を講師にすぐ伝えて、次の講座に活かせるようテンポをあげている。また、スタッフへの立ち話からのコミュニケーションからニーズを把握することも多い。

委員：施設に来ていない利用者など広範囲にわたって今何が求められているを吸い上げるような仕組みはあるのか。

応募団体：市内他館からの情報・評判を直接聞いたり講師などを通じて収集しそれを活かす。又ホームページに随時情報をあげたり近隣の施設に便りを配布している。他には18区の老人福祉センター所長会において議題提案して各区から情報を得ている。

委員：施設の地理的な環境の問題。人集めの方策はあるか。

応募団体：バス停からも距離はある。健康のバロメーターとして来所していただいている状況。近くまでバスを呼びたいところだが難しい。

委員：利用者を集めるだけで無く出向く形も欲しい

応募団体：防災の話などウェブで見ることができる仕組みを検討。

委員：施設来場者のスマホ所有状況

応募団体：持っている人はいるが、電話使用がメイン。施設利用者のうち70～80歳が6割。60～70歳の方はそれなりに使っているのでは。6割の部分はどうするか。

委員：高齢者の方向けにネットの料金について説明あるのか。

応募団体：まずはスマートフォンの使い方を説明。次の段階でそのような話に進められるかと。半期中で数回やらないと忘れてしまう。

委員：感染者対策として医師との協力はいかがか。

応募団体：相談業務としては保健師・看護師との連携は続けている。協力医との関係はまだ。地域との連携を考えていくのであれば地元の医者などの連携も考えていきたい。

委員：お年寄りといっても年齢にも理解力にバラつきがあるので、置かれている状況も違うのでそれに合ったプログラムをつくるのが必要。

これから先きめ細かい対応をしていくことが魅力的な場所になっていくのでは。

---

### 3 意見交換、評価シート記入

(1) 応募団体の財務状況について、吉原委員より説明。特に大きな問題はなく、5年間は問題なく指定管理を行うことができると判断した。

(2) 事務局から、応募団体が応募資格を有すること及び暴力団経営支配法人等に該当しないことについて報告。

(3) 事務局から、現指定管理者の管理運営状況について説明。

(4) 提案内容について委員による意見交換を実施。

- ・施設のPRの仕方が他にあってもよかったのでは。

- ・新たな工夫・提案が観られなかった。対抗馬が無いケースは判断が難しい。新しいものが無いのは利用者サイドからすれば残念。

- ・人事スタッフについて、常勤の人に結構負担があるのでは。提案書からはどういふ人が何をやるか見えなかった。

- ・コロナから戻ることによって、行かなくなった利用者が再び戻ってくるかという懸念がある。

- ・全体としては無難な提案。ノウハウはある。この先考えていったときにもう少し工夫をしていただかないと。新たな提案はちょっと認められない。

### 4 指定候補者の決定

各委員の評価点を集計した結果525満点中407点となり、また加減点項目を除く最低基準点(270点)も満たしているため、公益財団法人横浜市老人クラブ連合会を指定候補者として決定した。

### 5 特筆すべき提案について

指定候補者の特筆すべき提案は「なし」として決定。

資 料	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 選定委員会の進め方等について</li><li>(2) 横浜市狩場緑風荘指定管理者選定委員会名簿</li><li>(3) 席次表</li><li>(4) 選定委員会 当日スケジュール</li><li>(5) 現指定管理者運営実績資料</li><li>(6) 現指定管理者運営実績評価シート</li><li>(7) 応募書類</li><li>(8) 評価シート</li><li>(9) 確認書（応募団体との利害関係について）</li></ul>
-----	--